

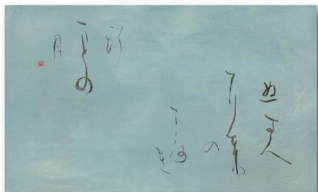
杉岡華邨生誕一一〇年

五鳳と華邨

—共に咲く師弟の歩み—



日比野五鳳「流水先であらそはす」(昭和59年)



杉岡華邨「まじの月」(昭和53年)

五鳳がとなえ華邨が守ったものとは 9月10日(日)午後2時から

講師 日比野博鳳先生(日展会員)

※往復はがきまたはEメールでの事前申し込みが必要です

書道文化講座

Nara City Museum of calligraphy in honour of Kason Sugioka

奈良市杉岡華邨書道美術館

〒630-8337 奈良市臨戸町3番地 TEL.0742-24-4111 FAX.0742-20-6677

E-mail:shodou@m3.kcn.ne.jp <http://www3.kcn.ne.jp/~shodou/>

◆休館日 月曜日(祝日の場合最も近い平日、祝日の翌日(その日が平日である場合)、展示替え 7/18~20)

◆開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は4時30分まで)

◆観覧料 一般300円 団体(20名以上)240円 高校生以下と身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者

保健福祉手帳の所持者及びその介護者、奈良市在住の70歳以上の方は無料

■美術館への交通案内/近鉄奈良駅から徒歩10分 JR奈良駅から徒歩15分

※当美術館には身体障がい者のための駐車スペース(台所)しかございません。



主催：奈良市・杉岡華邨書道美術館(一般財団法人奈良市総合財団)
奈良市文化芸術計画推進事業【芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡大】

2023年
5月27日(土)〜9月24日(日)
前期(後期)で一部作品の入れ替えがあります
前期 5月27日〜7月17日/後期 7月21日〜9月24日
◆展示替え休館 7月18日〜20日

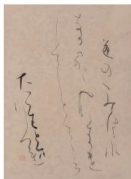
五鳳と華邨

—共に咲く師弟の歩み—

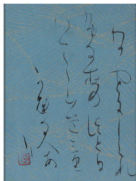
かな書の分野で初の文化勲章受章者となった杉岡華邨が生誕して2023年3月6日で110年となりました。

華邨は師の尾上柴舟没後、誰にも師事せず自学でやっていたと考えていましたが、昭和32年9月に日展出品作を見てもらうため日比野五鳳(1901-1985/書家、文化功労者、日本芸術院会員)を訪ねた時、「箒のように吉びた小筆で一二文字朱を入れてくださったのに参ってしまった」とその場で入門を願ひ出ました。華邨は師について「先生は天才的な鋭い美的感性の持ち主で、「先生の書は、昭和の三筆の一人として位置付けられる人もあるように、独創的で、格調が高く、沈潜した深み」があると書き残しており、日比野五鳳の書法を吸収しそのルーツを探るべく、華邨は懸命に師から多くのことを学び、自らも書的地盤を豊かにし、やがて新たな境地を開拓していくことになります。

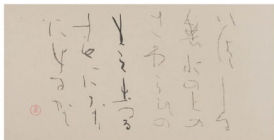
本展では、日比野五鳳とその師に多大の影響を受けながらも自らの書風を模索した華邨の作品をあわせて紹介します。共に現代かな書壇に大きな足跡を残した五鳳と華邨、師弟の書をお楽しみいただければ幸いです。



日比野五鳳「遠の島」昭和39年

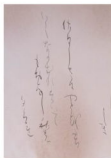


日比野五鳳「わが今どき」昭和40年

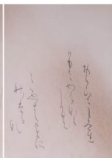


日比野五鳳「いははしる」昭和55年

杉岡華邨



杉岡華邨「をためのすがた」昭和39年



杉岡華邨「みほとけ」昭和49年



杉岡華邨「春日野」昭和59年

書道美術講座

■うちわに書こう

6月25日(日) 12時-14時 各10名 受講料1,000円
初心者でも参加できる団扇を作るワークショップです。
講師 秋山英津子先生(日展会友)

■かなの散らしを楽しむ vol.6

講評会 7月15日(土) 14時 受講料2,500円
散らしをテーマに課題作品を講評、指導する実践的な講座です。
講師 高木厚人(奈良市杉岡華邨書道美術館館長)

※各講座は、往復はがき、FAX、Eメールでの事前申し込みが必要です

奈良市杉岡華邨書道美術館

〒630-8337 奈良市扇戸町3番地 TEL.0742-24-4111 FAX.0742-20-6677
E-mail:shodou@m3.kcn.ne.jp http://www3.kcn.ne.jp/shodou/

■美術館への交通案内

近鉄奈良駅から徒歩10分 京奈良駅から徒歩15分 ※当館には身体障がい者の方向の駐車スペース(1台)しかございません

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予告なく展覧会、イベントを中止する場合があります

